



D. K. Lee

李東建
2008-09年度国際ロータリー会長



No. 26

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ①ロータリーを楽しもう
- ②子どもたちが幸せになるために
- ③友愛奉仕活動を実践しよう
- ④ロータリーの綱領を実践する

例会記録 (2009. 1. 16 (金)) 通算2,741回

◆開会

◆唱歌

ロータリーソング (我等の生業)

◆ゲスト紹介

三菱重工業 (株) 高砂製作所 総務部長 伊藤輝彦 様

◆来訪ロータリアン

高砂青松 R. C 西田光衛 会員

◆プログラム予定

1月23日 (金)	1月30日 (金)	2月7日 (土)	2月12日 (木)
新春放談 高砂市長 登 幸人 様	クラブフォーラム (上半期中間報告)	I. M. (6日例会分) 東播第2グループI. M. ホスト加古川平成R. C	移動例会(13日例会分) 新年家族例会 於：大黒天

◆出席報告

本日 1月16日 会員数49名 欠席者9名 出席率79.07%
前々回 12月26日 会員数49名 欠席者0名 出席率100%

◆MAKE-UP

桂田 重信会員 神戸ハーバーR.C 1月14日
荒川 俊雄会員 e-CLUB 1月13日
安藤 公夫会員 e-CLUB 1月13日
丸山 恵右会員 e-CLUB 1月 8日
山本 広志会員 e-CLUB 1月15日

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

脇谷 政孝会員……誕生祝を頂いて。
安藤 公夫会員……自己紹介させていただきますのでよろしくお願いいたします。
高木 史郎会員……出席100% (1年) 祝を頂いて。
早退 2名

◆幹事報告 (2,741回)

◎地区ロータリー財団より、国際親善奨学生募集の案内が届いています。お心当たりのある方は幹事までお知らせください。(ただし、ロータリアンの親族は対象外です。)

◎地区新世代委員会よりRYLAセミナーのお知らせが来ています。お心当たりのある方は丸山新世代委員長までお知らせください。

期日：2009年3月26日(木)～29日(日)

場所：神戸YMCA余島野外活動センター

◎第10回ロータリー囲碁大会の案内が届いています。参加ご希望の方は幹事まで。

※お知らせ

2月12日(木)新年家族例会が行われますが、17:30より理事会、18:00より新入会員インフォメーション、18:30より新年例会を行います。関係各位の方、ご準備をよろしくお願いいたします。

◆会長の時間

明日は阪神淡路大震災に遭い14年になります。

有識者の方によりますと、100年に一回、300年一回ぐらいにやってくる災害のことですが、いずれにしても100年先、300年先には私どもは、どなたも生きてはいないですけれども、「災害は忘れた頃にやってくる」という名言があります。どれぐらい覚えておけるものでしょうか？どれぐらい語り継いでゆけるのでしょうか？地震・雷・火

事・親父と言われるように本当に予測できないことは恐ろしいものです。

さて、14年前の17日の週にロータリーの例会を開くのに会員の消息確認から始めた
と聞いています。この時ほどロータリアンであったことが嬉しかったことはなかった、と
被災地のクラブの皆さんは述懐しておられました。

その後、ロータリアンの何人かの会員は、ボランティアとして活躍されました。高砂
ロータリーの中尾会員の大黒天さんもあの大変な時に、例会の食事を神戸までお届けに
なったことは知る人ぞ知るお話です。

今月はロータリー理解推進月間ですので、ロータリアン同士の友情、絆を再認識する良
い機会かもしれません。

◆本日のプログラム

新会員自己紹介

安藤 公夫 会員

私はキッコーマンに勤務しており、妻と次女の3人家族で、姫路に住んでいます。
1950年4月29日に高砂市荒井町で生まれました。父もキッコーマンに勤務しており、
高砂工場内の社宅が私の生家です。高砂市立荒井小学校に入学し、5年生の3学期まで高
砂で育ち、6年生になるとき千葉県野田市に転居しました。

私は1975年にキッコーマンに入社し、主に製造部門の設備系技術者として勤務して
きました。高砂工場には1986年から1年7ヶ月間勤務した経験があり、昨年6月よ
り二度目の高砂勤務になりました。特に変わった勤務経験としては、6年間労働組合出向、
オランダ工場建設プロジェクト、8年間のシンガポール勤務があります。

私が労働組合に出向した時期は、旧来の労働運動から連合が発足するなど大きく方向転
換する時期でありました。自分たちの考えで組合を運営することの重要性を推進しました。
現在も労働組合時代の仲間と年に数回ゴルフをやったり、飲み会をやったりしており、本
当に苦楽をともにし、同じ釜の飯を食った仲間は良いものだと思います。

オランダ工場建設プロジェクトでは、リーダー以外のメンバーは海外勤務の経験も無く、
英語もほとんどできない者ばかりでしたので、大変苦勞いたしました。言葉よりも海外で
仕事をするためには、日本人同士で仕事をするのと違い、物事の考え方が違うということ
を常に頭において仕事をしなければならないということを経験しました。

特にヨーロッパでは契約社会で契約書がすべてで、契約範囲（scope of work）が非常
にあいまいに書かれており、後で問題にならないように中身を十分にチェックするよう心
掛けました。また、日本のようにみんなで改善していくのではなく、各人の仕事の
範囲がはっきりと決められており、階級社会だと感じました。

仕事ではありませんが、オランダはヨーロッパ中でも、自由で独自性のある国で、安楽
死や大麻の所持・使用が認められており、大麻を買わないかとの進められたこともありま

した。

シンガポールは淡路島と同じぐらい小さな国で、中国人が75%、マレー人が15%弱、インド人が10%弱、その他2%の多民族国家です。また、宗教も仏教、道教、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教と民族ごとに違いますが、各宗教の正月などは休日として平等に設定されています。言葉も英語、中国語、マレー語、タミール語が公用語となっており、公立の小学校では第二国語として母国語の授業が行われています。

ビジネスはシンガポール国籍の中国人（華人）が主体ですので、華人社会を理解しなければ仕事がスムーズに行かないことになります。華人は自分たちの言語、文化、伝統、習慣に基づくアイデンティティーを持ち、独自のネットワークとコミュニティーを築いております。そのベースには血縁（同族）、地縁（同郷）、業縁（同業）という「三縁」の関係に基づいています。本当に信頼関係を築き、彼らのコミュニティーに入れば、人情や義理などより深い関係になります。当社の取引先はすべて中国人の会社でしたので、こうした中国人と良好な関係を築くのに苦労しましたが、ヨーロッパと正反対の信頼関係の社会という異文化の中での仕事を経験しました。

皆様と一緒に活動して参りたいと存じますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



会 長 坂牛 八州 幹 事 守光 隆

例会日時 毎週金曜日12時30分より

高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 田中 泰生

例会場 高砂商工会議所 2階会議室

http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/